結楼（ゆいろう）

グローバル社会において、外国人と街を融和させる住環境の提案

Concept - グローバル社会を目指す日本において、多様な人が住まうことのできる住環境とは？

このように日本の住宅は社会的背景や人々のライフスタイル、技術の発展などに応じ、その姿を変えてきた。

グローバル社会を目指す**過渡期の日本**において、多様な人が住まうことのできる**住まい環境**とは何だろう。

PROPOSAL - マチに融和する外国人

日常の延長が重なることで生まれる交流

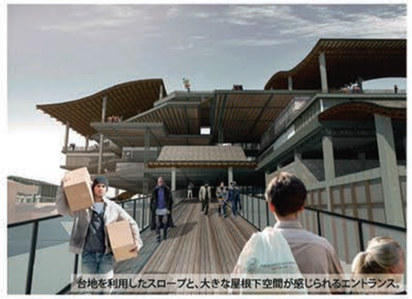
夕陽丘には寺町という特徴もあり、レストランや銭湯などの町の要素が欠けている。外国人にとっては**生活空間**が、街の人にとって行きたくなるような**街の良い場所**になることを考えた。外国人と街の人が**日常の延長線上**で重層的に出会うことによって、おたいのことを知り、**必然的に交流**が生まれると考える。

これからの自治会

これまでの**自治会**は日本人でしか構成されていなかったが、これからの自治会は同じ街に住んでいる外国人にも目を向けるべきだと考えた。さらに、街のことをよく知っている日本人と外国人の発信力が生むシナジー効果は、**外国人が日本を理解する**ことにも、**地域産業の発信**にもつながる。観光客の誘致や日本を世界に広められるなど、非常に強みを持つと考えられる。

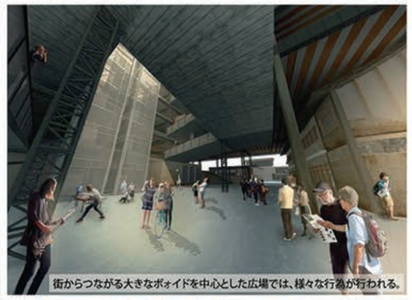
舞台建築としての位置付け

この町には潜在的な美しさを内包する景色が沢山存在しているのだが、内側からそれらを見ることが出来る場所はない。かつては**街を眺望する舞台建築**はあったのだが、経済の発展と共に乱立するビル群が景色の潜在的な価値を隠し、その役割を失ってしまった。そこで、現案する舞台建築を通すことで、「**昔からの景色の良さ**」に各々の価値観が掛け合わされた「**新たな良さ**」を発見し、それを共有することが出来る空間構成を考えた。



台地を利用したスロープと、大きな屋根下空間が感じられるエントランス。

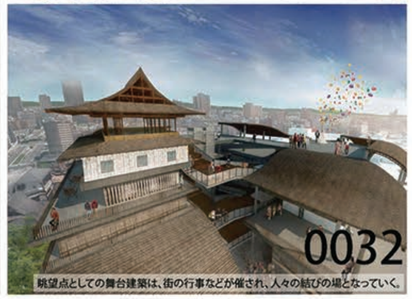
壁のない開放的な空間では、街とのシークエンスが生まれ、街を再認識できる。



街からつながる大きなボイドを中心とした広場では、様々な行為が行われる。

階層が上がるにつれた空間の切り替わりは、スケールに見合った行為を誘発する。

外国人と街の人々は、生活の延長であるスラブの上で交流できる。



眺望点としての舞台建築は、街の行事などが催され、人々の結びの場となっていく。

SITE -INFO

SITE -PERSPECTIVE

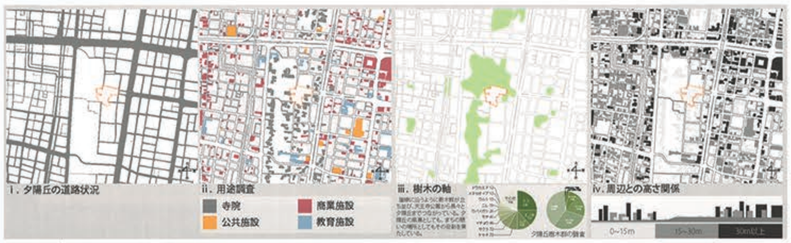
SITE -RESEARCH

■ 夕陽丘

大阪の上町台地に位置する昔からの寺町。上町台地の西端部に現れる崖線に重なり合うようにお寺の門塀が並び、その背景に大きな樹林群が立ち上がっていて、この「歴史と森の立体的景観」が長々と続く。市域全体がこくこく平坦な地形からなる大阪で、上町台地近辺は、高低差のある風景・景観をあちこちにつくり出す貴重な場所である。台地上部への動線としての「七坂」は、今に至ってもその歴史のある風景を人々に認識させられる場所である。大阪の中心である難波や古い歴史の四天王寺、周辺の数多い住宅地、様々な商業施設などに接している。大阪の中でこのような日本の風景があることは幸いなことであり、時代に合った方法で守っていかないといけない風景である。

夕陽丘の人口密度は96人/haであり、直近の人口密度と比べてみると、全市域が120人、夕陽丘を含む天王寺区は153人/haで、比較的に少ない。だが、多数の寺院境内地や学校敷地などを持つ夕陽丘でのこの数値は十分に大きい。

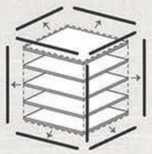
SITE -ANALYSIS



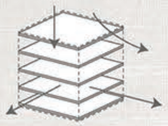
マチからデザインする

■ 全体構成

様々な制限を受けて整形された建築

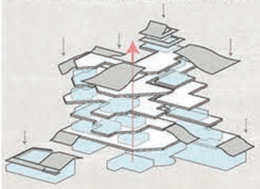


制限をはずして有り触れた枠組みから解放される



周辺環境に応じた自由な変形が可能になる

ボイドを介して街の動線を建築の中に取り入れる



必要に応じたボリュームの設定と屋根下のパブリックスペースを構成

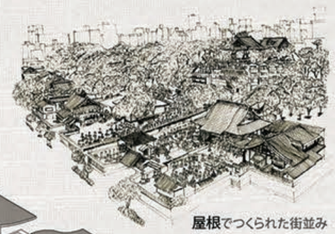
■ Design Essence

道

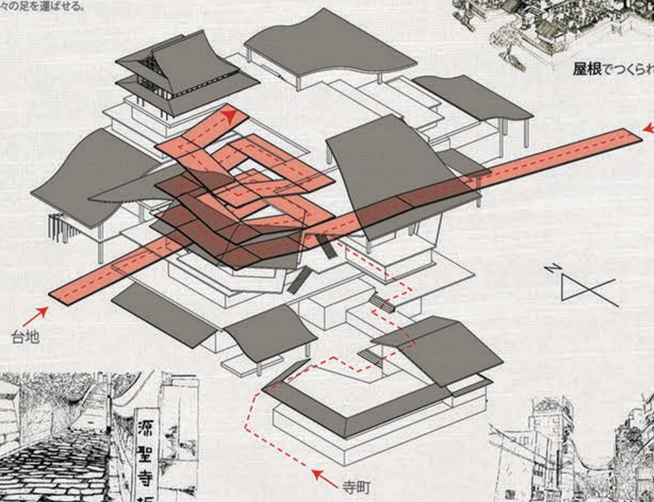
敷地には台地、寺町、都市からそれぞれアクセスすることができ、①台地を登る坂道、②寺町の塀並み、③都市のビルの間を通ってくる道に相応しいエントランスを設ける。そうすることによって、スムーズにこの場所へと街の人々の足を運ばせる。

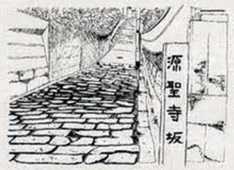
屋根

寺町ならではの屋根並みでつくられた風景。大きな屋根は人々の目を引き、屋根下の空間は人々を休憩させる。その空間性を建築に取り入れ、ここに足を運んできた街の人々と留学生たちが交流する場をつくる。



屋根でつくられた街並み





台地からのエントランス

夕陽丘の七坂の一つである源聖寺坂。西側の上り口は下寺町の松屋町筋に通じていて、坂を上りきると寺町が開かれる。石畳の懐かしい風景や、途中からの少し勾配のきつい階段、そして人々を導いてくれるお寺の塀。こうして都市では見られない風景を見ていると、何だか台地を上りなくなる。

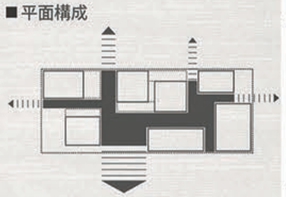
都市からのエントランス

夕陽丘の東側にある谷町筋を通る都市からの風景。近くにこれほど良い場所があることを認識してもらい、気軽に来れるような場所にしたいと考えた。

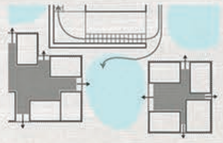
寺町からのエントランス

寺町を南北に縦断する路地。この路地沿いにはお寺が並び、塀の街並みを生み出している。この風景を守るべきであると感じた。

■ 平面構成

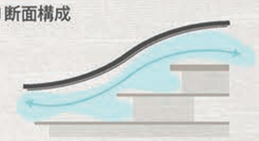


内と外の関係をスムーズにする空間配置



ライフスタイルが溢れる共有空間

■ 断面構成



大きな屋根の下で断面的つながりを持つ

■ 多様な行為を生み出す共有空間

0032